※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地球と環境	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間生活と地球環境との間には切っても切れない関係があります。地球が誕生してから現在までの間にその環境はさまざまに変化してきており、また、地球に住む生物はその変化に大きな影響を受けてきました。一方で、人間生活が地球環境へ与える影響も近年問題になってきています。この授業では、地球・環境・人間生活がどのように相互作用をしており、そこからどのような問題が生まれてきているのかを考察し、物事を深く洞察･探求する力を身につけてもらいたいと思っています。

２　学習の到達目標

(1) 地球の誕生から成り立ち、その環境の変化について、基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
(2) 日常生活でみられる地学的現象を科学的に考察し、自ら考えを導き出して考察し、表現することができる。
(3) 地球環境についての基本的な概念や原理・原則をもとに、地球環境の変化に関心をもち意欲的に探究することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球環境の変化や人間生活との関わりについて、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。また、発表やグループワークなどを通じて知識を深め、現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球環境の変化や人間生活との関わりについて問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、考えを導き出すことができる。また、自らの考えを簡潔にわかりやすく表現している。	地球環境の変化や人間生活との関わりに関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、常に地球環境の変化を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地球の生成と変遷	地球の歴史 地球の構造 地球の現在	a:地球の生成と変遷について基本的知識を理解している。 b: 地球の生成と変遷について科学的に考察できる。 c:地球の生成と変遷について、現在の地球にみられる問題との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
2学期	さまざまな地球環境	地球上のさまざまな気候 地球上のさまざまな生物 地球でみられる地殻変動	a:地球にみられるさまざまな環境について基本的知識を理解している。 b: 地球にみられるさまざまな環境について科学的に考察できる。 ｃ：地球にみられるさまざまな環境について、現在の地球にみられる問題との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
3学期	地球環境と人間生活との関わり	地球環境でみられる環境問題 環境問題と人間生活 これからの地球環境	a:地球環境と人間生活との関わりについて基本的知識を理解している。 b: 地球環境と人間生活との関わりについて科学的に考察できる。 ｃ：地球環境と人間生活との関わりから、現在の地球にみられる問題との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度